

アルバイト先を時給が高い
福井市内のラウンジに変えた
大学3年の齊、新型コロナウイ
ルスが猛威を振るっていた。
山本将平さん(22)＝福井大工
学部4年＝は、店が休業になり
奨学金以外の収入がたまたた。
バイトは6月頃に再開し
たが、管足は戻らず、給料は
わずか。大学の職機が再開し
た後は、遅れを取り戻すため

コロナ下の叫び

— 2021 衆院選ふくい —

5、6限目までみっちり入っ
た。掛け持ちはできない。食
事を我慢したり、親に買って
もらったカーディガンや好き
だったアクセサリーを売った
りしてつないだ。姉からもら
ったテレビも手放した。部屋
には冷蔵庫と洗濯機、布団
は冷感庫と洗濯機、布団
こたつだけが残った。

型コロナで社会情勢ががらり
と変わり、自分一人の力では
どうしようもない現実を突き
つけられた。

そんなとき、困窮学生向け
の臨時奨学金の案内メールが
大学から届いた。給付型や金
利の低い奨学金など計五つを
申し込んだ。結果は全て不採
用。その一つには「学力基準
を満たさないため」と理由が

▶ 1 困窮学生 臨時奨学金も不採用



「救いの手を差し伸べてくれる社会になってほしい」。構内を歩く山本さん＝福井市の福井大文京キャンパス

学ぶ資格はないのか

書かれていた。頭が響くにお
金がないと学ぶ資格もないの
か。就職前、泣きながら思
った。不採用通知の紙は破り
捨て、退学を考えた。

■ ■ ■
救われたのは、福井大独自の
給付型奨学金制度だった。

昨年6月から今年3月まで、
限度額いっぱい毎月3万円
の給付を受けた。大学側は8
月末までに、延べ1419人
に約3500万円を給付して
いる。学生サービス課は「今
まで50人を切るくらいまで
減ったが、多い月では300
件近く申請があった。思った
以上に苦しんでいる学生がい
た」と振り返る。

バイト先は今では管足が少
しずつ戻り、働ける日が増え
てきた。生活はできている。
物欲はなくなり、最低限の買
い物しかしなくなつた。

だだけ、教員になる夢は捨
ててきていない。目標も何も
なかった高校3年生のとき。
親身に相談に乗ってくれた担
任の先生におごがれた。今年
6月、母校の静岡県内の高校
に教育実習へ行つた。少し夢
がなくなった気がした。

卒業まで半年を切つた。勉
強より、まず生きることに必
死な学生もいる。そんな人に
救いの手を差し伸べてくれる
社会になってほしいと願う。

(若狭善郎)

× × ×
衆院選が19日に公示される。
新型コロナウィルス下の福井
県内の現場をリポートし「政
治への叫び」を紹介する。

記者の
刊に
ミラム